

平成27年度第5回エデュカーレ in たかはし

地域の先達に学ぶ  
～生き方のヒントを探しませんか？～

報 告 書

開催日時：平成27年12月20日(日) 13時30分～17時00分

会 場：吉備国際大学 国際交流会館

主 催：エデュカーレ in たかはし実行委員会

後 援：高梁市、高梁商工会議所青年部

NPO 法人だっぴ

協 力：吉備国際大学社会科学部 井勝研究室

吉備国際大学地域創成農学部 森野研究室

吉備国際大学外国語学部 大下（朋）研究室

## 1. はじめに

第5回エデュカーレ in たかはしではゲストに高梁市で活躍されている先達の皆さんを迎え、生き方のヒントをテーマに開催しました。人生を模索している市民や若者及び学生にとって、既存の価値観にとらわれない新しい生き方のヒントになるかもしれません。高梁で活躍されている先達の方々をお招きし、先達の方と市民・学生が少人数のグループを組み「生き方」について参加者とゲストで意見交換を行うことを計画しました。

## 2. 実施内容

### 1) 全体プログラム

下記に大まかな全体プログラムをまとめました。詳細は次ページのプログラムシートを参照してください。

#### 1. オープニング

- ①自己紹介
- ②アイスブレイク

#### 2. グループに分かれて意見交換

- 1) 意見交換ワーク①（フリップボードディスカッション）  
テーマ：あなたにとって充実した人生とは？
- 2) 意見交換ワーク②（フリップボードディスカッション）  
テーマ：社会人として重要なことは何だと思いますか？
- 3) 休憩
- 4) 意見交換ワーク③（フリップボードディスカッション）  
テーマ：今力を入れていることは何ですか？
- 5) 意見交換ワーク④（フリップボードディスカッション）  
テーマ：人生のターニングポイント

#### 3. 感想等の共有

#### 4. エンディング

### 2) 参加して下さったゲストの皆様

(あいうえお順)

- 田邊典子さん（陶芸家・ファシリテーター）
- 徳田匡彦さん（地域に飛び出す公務員、高梁市役所）
- 徳田勝俊さん（高梁商工会議所 青年部）
- 中曾まゆみさん（宇治地域市民センター）
- 藤田泉さん（トマト農家、百姓のわざ伝承グループ）
- 三宅康裕さん（環境専門家、倉敷市市役所）

### 3) プログラムシート

プログラムシート					
研修会等名称:平成27年度第5回エデュカーレ in たかはし					
WSタイトル:地域の先達に学ぶ～生き方のヒントを探しませんか?～					
狙い/成果					
目的 今を模索している市民や若者及び学生にとって、既存の価値観にとられない新しい生き方のヒントを探していく。					
目標 参加者各自が生き方について考えるきっかけとなる。					
対象者/人数 対象者:40人が目標 市民10人、大学生20人、高校生10			時間/場所 場所:吉備国際大学国際交流会館 時間:13:30～17:00		
時間	狙い/目標	活動内容	進行役	場の設定と準備品	
開始 13:30 (32分)	オープニング	・開始の宣言 ・配付資料の説明 ・実行委員長あいさつ ・プログラムの説明 ・グラドルールの説明 ・参加者自己紹介 ・ゲスト紹介		・シアター型 ・椅子のみ ・司会者用メモを準備 ・マイク ・ベル	
チーム・ビルディング 14:02 (10分)	・アイスブレイク(10分)キャッチ	・チェックイン		・全員円になる	
会場参加型トークセッション① 14:12 (29分)	テーマ①あなたにとって充実した人生を送るには?	①グループ分け(2分) ②意見の抽出(2分) ③意見の発表と意見交換(20分) ④グループ発表(5分)		・グループ討論用紙 ・マーカー	
会場参加型トークセッション② 14:41 (29分)	テーマ②社会人として重要なことは何だと思えますか?	①グループ分け(2分) ②意見の抽出(2分) ③意見の発表と意見交換(20分) ④グループ発表(5分)		・グループ討論用紙 ・マーカー	
休憩 15:10 (15分)					
会場参加型トークセッション③ 15:25 (29分)	テーマ③今力を入れていることはなんですか?	①グループ分け(2分) ②意見の抽出(2分) ③意見の発表と意見交換(20分) ④グループ発表(5分)		・グループ討論用紙 ・マーカー	
会場参加型トークセッション④ 15:54 (29分)	テーマ④人生のターニングポイント	①グループ分け(2分) ②意見の抽出(2分) ③意見の発表と意見交換(20分) ④グループ発表(5分)		・グループ討論用紙 ・マーカー	
シェアリング/ プロセッシング 16:23 (33分)	感想の共有	・考える時間3分 ・全体感想共有(16分) ・ゲストの感想(15分)		・フリップボードに記入	
エンディング 16:56 (3分)	アンケート記入	・終わりのあいさつ ・アンケート記入の依頼		アンケート用紙	
準備物等					
①ワークショップ用品 ・グラドルール ・テーマを書いた大判用紙・模造紙・ポストイット・マーカー・テープ・はさみ・磁石・タイマー・笛・指し棒・ストップウォッチ・用紙挟み・A4用紙					
②ホワイトボード ③CDプレーヤー ④カメラ ⑤ポスター ⑥会場施設等の看板					
⑦放送機器一式 ⑧ ⑨飲み物、コップ、おやつ、チョコレート、アメ等					
⑩菓子盆 ⑪名札 ⑫アンケート回収用の箱 ⑬名札回収用の箱 ⑭受付用紙 ⑮記入用鉛筆					

### 3. 実施結果

#### 1) オープニング

##### ①自己紹介

ゲストの皆さんと参加者が輪になって着席した。事前に配布した用紙に、一般参加者は①氏名と②一言アピールを、ゲストの皆さんには①氏名、②簡単なプロフィール、③座右の銘、④影響を受けた人を記入していただき、紹介に利用していただいた。

##### ②アイスブレイク

参加者の緊張を和らげるために、キャッチを行った。

参加者とゲストが立ち上がって一つの円になってもらった。

①右手で人差し指を立てる。左手は筒を作る。

②右隣の人の筒に、指を上から入れる。

③司会者が『キャッチ』という言葉を書いたら、右手は上に逃げて、左手は逃がさないように掴む。

④ただし、あまり手をギュッと握ってしまうと、怪我をしてしまうことがあるので、優しく握ります。

★これを繰り返して一番強い人を決める。

#### 2) 意見交換ワーク

意見交換は4つのテーマについてフリップボードディスカッションという手法で行いました。フリップボードに残されていた意見を下記にまとめました。

##### テーマ①：あなたにとって充実した人生とは？

- ・親友が多くいる人生
- ・やりたいことを迷わずやる
- ・仕事もプライベートも楽しめる
- ・常に目標や夢があること
- ・互いに楽しいと心から思える人生
- ・楽しい思い出がたくさん
- ・いろんな人とのつながりや活動があること
- ・役割があること
- ・楽しむ
- ・自分の好きな職業につけて家庭を築くこと
- ・仕事とプライベートを両立できる事
- ・他人から求められる、必要とされる
- ・家族と向き合う
- ・今やること、基本に充実
- ・目標がある、達成感、必要とされる
- ・後になってあつという間だったと思える人生

- ・他の人が幸せと感じれるようにする、やりたいことのサポート
- ・目標をたくさんなしとげる、多くの人を手伝いする
- ・昨日、毎日充実するためにしよう
- ・とりあえずしましょう
- ・笑顔

### テーマ②：社会人として重要なことは何だと思いますか？

- ・礼儀
- ・我慢する能力
- ・仕事を楽しめる心がけ
- ・人との協力
- ・人間関係を大切にする
- ・人間関係
- ・豊かな人間性
- ・ルールを守ること（学生よりも多くの人と接するために）
- ・色々な意味でバランスを持つこと
- ・自分の役割を一所懸命
- ・マナー、やる気、目的意識
- ・コミュニケーション力、自己理解
- ・コミュニケーション
- ・コミュニケーション能力
- ・自分を大切にすること
- ・立場を考えつつもやりたいことはやる
- ・言われたことだけじゃなくて自分で考えて動く
- ・学ぶ力
- ・相手に気をつかえ、社交性があること
- ・ハウ・レン・ソウ
- ・ときには我慢
- ・信用
- ・処世術

### テーマ③：今、力を入れていることは何ですか？

- ・(社会福祉の)勉強、自分のスキルアップ
- ・学びと実践(コーチング、心理学)
- ・自分自身
- ・資格勉強
- ・バイト
- ・フラダンス、心と体の健康づくり、まちづくり
- ・卒論、日本語の勉強
- ・森里川海をつなぐ“高梁川流域学校”づくり

- ・ マラソン
- ・ 学校に行くこと
- ・ ゆとりを持つ
- ・ 信用強化
- ・ 人と話すきっかけをつくること
- ・ 友達との思い出？
- ・ 人とのつながりを増やすこと
- ・ 食事、大学の成績、日本での生活
- ・ 車の知識
- ・ TOFEL
- ・ 「幸福」
- ・ コミュニケーション能力 UP

#### テーマ④：人生のターニングポイント

- ・ 井勝ゼミに入ったこと
- ・ 選挙
- ・ 小学校から中学校のテストの失敗
- ・ 石井清裕
- ・ 日本語と出会ったとき、ゼミ先生とゼミ生に出会ったとき
- ・ ゼミ選択、消えてたまるか中山間、上山
- ・ 1才
- ・ 中学校入学時
- ・ 1995年1月16日(阪神淡路大震災前日)、2000年某国件入会後
- ・ 身近な人の死、別れ
- ・ 就職活動
- ・ 野球を始めたとき
- ・ 自分の事を大切にしてくれる友達に出会えたこと
- ・ 大学2年？の冬
- ・ 転職、脱サラ
- ・ 軍隊の経験
- ・ 岡山県民になる
- ・ 肺炎
- ・ 16才から一人暮らし
- ・ 高校3年の冬進路を変えたこと

### 3)エンディング（感想の共有）

最後に、全員が感想を述べ合って終了しました。フリップボードに今日の意見交換会で得た【生き方のヒント】について残されていた感想しか記載できませんが、感想は下記の通りでした。

- ・共通点が少ない人と接する。
- ・物事に対して積極的になり、人間関係を大事にする。
- ・走り続ける
- ・コミュニケーション能力
- ・今回の会のように様々な立場の方の意見を聞くこと
- ・失敗から成長へ
- ・様々な意見が出たがどれも素敵だった。対話は楽しい、出会いもうれしい。
- ・本質を見る目を持つこと
- ・感謝の気持ちを持つこと
- ・色々な出会い、経験
- ・自分と向き合う
- ・人それぞれの生き方がある
- ・そこから自分が出来そうなことをなんでもやる。
- ・人との出会い、チャレンジ精神
- ・迷ったら家族、友人に相談する
- ・目標を持つこと
- ・今おかれている立場で一生懸命生かされている
- ・やりたいことに力をいれること
- ・後悔しないために、失敗を恐れずにやる
- ・コミュニケーションが円滑にできればきっとなんとかなる！
- ・いつ何があるかわからないから 1日1日をたいせつにする。
- ・他人の幸せは自分の幸せ！
- ・あたりまえの日常への感謝
- ・人生とは一歩の勇気の繰り返し
- ・自分だけでなく、周りの人の存在があったからこそ今の自分がいること
- ・立場を考え聞き上手になる人こそ、自分の考えを表に出せたりできる
- ・人それぞれの生き方

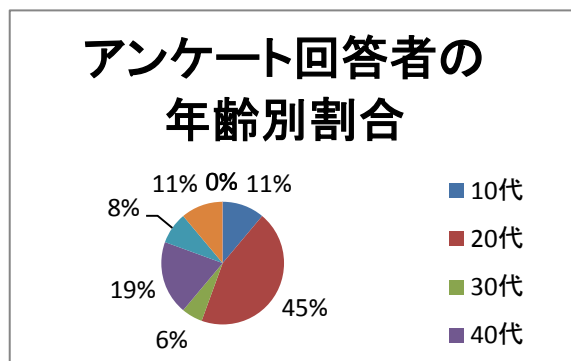
#### 4. アンケートのまとめ

##### 1) 参加者

参加者は、一般市民 16 名、学生 15 名、ゲスト 6 名の 37 名。アンケートは 36 名からの回答があった。下記にアンケートの結果をまとめた。

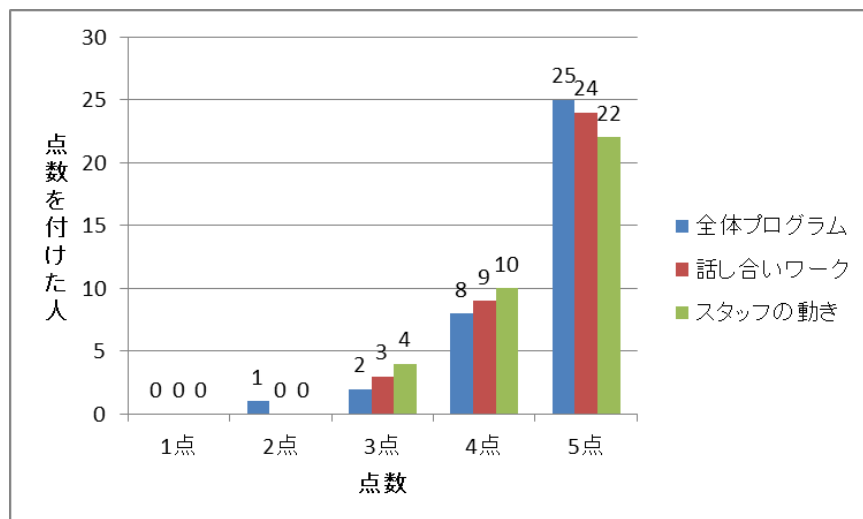
##### 2) アンケート回答者の年齢・性別・居住地

年齢	来場者数	性別	来場者数	居住地	来場者数
10代	4				
20代	16				
30代	2				
40代	7				
50代	3				
60代	4				
70代	0	男性	25	高梁市内	25
80代～	0	女性	11	高梁市外	11



##### 3) フォーラムの評価

	1点	2点	3点	4点	5点	有効回答	無回答
全体プログラム	0	1	2	8	25	36	1
話し合いワーク	0	0	3	9	24	36	1
スタッフの動き	0	0	4	10	22	36	1





#### 4) 改善点・気になった点

##### ①全体プログラム

- ・感想・テーマに対する答えを書く時間等が短いと感じる時があった。
- ・メンバー固定化？

##### ②話し合いワーク

- ・話し合いが終わった後、沈黙がたまにあった。

##### ③スタッフの動き

- ・自分が話していいか迷う時があった。

#### 5) アンケート記載事項のまとめ

##### ①良かった点

- ・スムーズな進行
- ・学生、社会人等バランス（参加者）
- ・多くの人と話し合いができた。
- ・意見交換が充分です。
- ・色々な意見が聞けた。
- ・自分と向き合うのにはいい問題でした。
- ・生きる事の原点について考えることができた。
- ・会が優しい雰囲気に参加しやすい。
- ・ファシリテーターがりっぱ
- ・学生として励みになる言葉を頂けた。
- ・そもそもこのフォーラムを高梁で催したこと。
- ・いろんな世代の人たちの率直な考えを聞くことができた。
- ・地域で活動するさまざまな人たち、今後活動を連携していける人たちと出会えた。
- ・ゲストの生き様を知ることができた。
- ・これから生きて行く上でのヒントになった。
- ・グループワークの練習
- ・少人数のグループに分かれて、話を聞いたのでじっくり聞けた
- ・自分とは違う視点での考え方を知ることができた
- ・いろんな意見が聞けた
- ・笑顔で話しやすかった
- ・コミュニケーション大切
- ・自分がやらないといけないことが分かった
- ・楽しく話し合いができた
- ・いろんな人の人生を知ることができた
- ・アイスブレイクが盛り上がった
- ・参加者がいつもより多かった
- ・いろんな世代の人と交流して話が聞けたこと
- ・忘れかけていた子供のころで来ていたのに今できていなかったこと
- ・良い時間を過ごせた

- ・テーマが話しやすかった
- ・6人ぐらいの良い人数でした
- ・テーマについて考えやすかった
- ・グループの人数の数がちょうどよく話しやすかった。
- ・皆が平等に発言できる進行だった
- ・テーマが偏らず人生について皆が自由に発言できた。
- ・学生を頼もしいと思えた。
- ・学生以外の意見を聞いて良かった
- ・社会に出て役に立つこともあった。
- ・様々な人の思いを聞いて良かった
- ・いろんな人の考えが聞けた
- ・話しやすかった。
- ・時間の配慮
- ・いろんな意見を聞けた
- ・気軽に話すことができた
- ・生き方のヒントが見つかった
- ・参加者が年齢、職業多様だったので面白かった。
- ・ファシリテーターの学生さんがスムーズに話を進めてくれた
- ・円座で話せたので自由に肩をはずらず話せてよかった。
- ・学生主体の運営にしていた。
- ・学生の成長プロセスが分かった
- ・時間内に終わった
- ・ゲストのブースに参加者がまんべんなく集まったこと
- ・井勝ゼミ全体の運営
- ・学生をはじめ多くの人と話げできた
- ・自分も振り返ることができた
- ・テーマが変わる間の手際が良かった
- ・幅広い年齢層がいたためよかった
- ・色々な世代、職種の方と交流ができた
- ・アイスブレイク
- ・テーマ毎にメンバーを替えて移動をしていた
- ・ゲスト（様々の職種の）が参加していたこと
- ・全員とまんべんなくグループワークできたこと
- ・世代の違う人とも話せたこと
- ・話し合う長さ
- ・普段なかなか交流機会がない学生の皆様と意見交換ができた
- ・意見交換により気づきを得ることができた
- ・いろいろな生き方を学ぶことができた
- ・多くの方に出会えた
- ・立場の違う方々が最後は一つになれた気がしました

- ・話し合いのテーマが良かった
- ・グループの人数
- ・参加者がちょうど良かった
- ・高校生の参加

## ②悪かった点・改善点

- ・もう1つぐらいテーマがあっても良かった。あわせて、もう少し時間があっても
- ・話し合いのグループによってはファシリテーターが上手く話をつなげられなくて、盛り上がり方に欠けた部分もあった
- ・テーマに則して様々な立場の人を招いて開催するとより盛り上がると思います。
- ・意見を書く短さ
- ・話し合う時間が終わったのか分かりにくかった
- ・ゲスト以外でも多様な人が集まるのでゲストを限定する必要はないかも、または、ゲストを増やす
- ・テーマが難しかった
- ・話の途中（特に聞きたい話のところで切れてしまったのが）残念
- ・題材によって時間を変えてはどうか
- ・少し疲れしました（長かった）
- ・テーマの中に生き方のヒントになれないこともあってそれが…
- ・マイクの音がおかしかった
- ・ゲストさんの中で一人の方の話を聞く態度が悪かった
- ・マイクの音
- ・最後の感想の共有方法
- ・グループワークのまとめの方法
- ・話が止まってしまった
- ・進行はきっちり決めて進めなければ参加者が戸惑う
- ・もう少しグループトークの時間があってもいいと思う
- ・意見が終わったら下を向く人がいる
- ・若干、連携面で戸惑ったところがあったように思った
- ・発表前の考える時間がもっと長くほしいです
- ・一人が長くしゃべった時に止める方法がない
- ・グループ討議の時に声が聞こえにくかった
- ・進め方がはじめよくわからなかった
- ・各テーマごとのまとめをボードに書き出してはどうでしょうか
- ・学生が多いのでテーマの絞り込みをもう少しした方がよかったかも（もう少し具体的にするとか）
- ・全体のファシリテーター、若さを活かしてもっと盛り上げていこう
- ・学生のアイデアをいれてみては？変装とか…
- ・テーマが難しかった
- ・話し合いの時間が短かった

### ③感想

- ・満足です。ありがとうございました。もっとさまざまなゲストの方を呼んでまた開催してほしいです。
- ・学生が礼儀正しい。グランドルールが素晴らしい。
- ・前回と同様たくさん勉強になることができました。学生の皆さんの生き方を真剣に考えている姿勢に心打たれました。失敗をおそれずチャレンジしてください
- ・学生、社会人、ゲスト間で様々な意見交換できたことは良かった
- ・高梁でもこのような会が出来るのだなと嬉しかった
- ・学生時代だけでなく社会人になっても定期的に人生を振り返ることは大切だと思いました。自分を見直すいい機会になりました。ありがとうございました。
- ・人が生きる上で大切な事を今日初めてあった人と話し合うことは一生でもそうそうない体験だったと思う。四つの題でもこれほど広い話をする事ができて本当にうれしかったと思う
- ・楽しかったです。日頃話をする機会のない方々とのコミュニケーションは新鮮でした。
- ・若い子たち、頑張ってますね。いいイベントをありがとうございました
- ・人生いつ終わるかわかりませんが日々楽しく幸せに感じたいなと思いました
- ・今後に生かすことができるものを得ることができてよかったです
- ・参加できて良かったと思います。ありがとうございました。
- ・様々な職種の人と色々な話ができ良かった
- ・普段話すことのないような話ができ面白かった
- ・今回参加してみて学生ではできない事のない意見思いを聞けたし社会に出て役に立つことも多く学べて良かった
- ・学生の皆さんと本音トークができ良かったです。ゲスト同士の意見交換もあってよ良かったかも
- ・スタッフの動きが良かったため途中のグダグダ感とかが全くなかった。人数の変更にも対応ができていた
- ・もっと学生の意見が聞きたかった。コミュニケーションってどういう理解なのか？なんてことを含んで…
- ・今年度のエデュカーレも最終回となり井勝ゼミの運営が会を増すごとによくなっていると感じました。次年度以降も継続しいいフォーラムを開催していきましょう
- ・市外から来られた方が、おられるのに驚きました。学生さんが中心のイベントだと思っていたので驚きました。話が一方的にならずとても良かったと思います
- ・エデュカーレ in 高梁本当に良かったです。普段話をするのでできない学生さんと話ができたりさまざまなテーマについて話ができ“頭”を使うことができた来年以降も開催して頂ければ
- ・はじめは行くつもりもあまり乗り気ではありませんでした。でも行ってみたいたくさんのお話を聞くことができて良かったと本当に思いました。このような機会を作って頂きありがとうございました
- ・人と人が話してみるのが大事でそれから感じる事が多く新しい人と出会いいろいろ

ろ話ができ良かったです

- ・自分なりの生き方のヒントを見つけることができて良かった。
- ・今日はありがとうございました。社会人からの経験をいろいろ勉強しました。いろいろな勉強になりました。
- ・エデュカーレを通じて多くの人と話せることがとてもいいことだと思う。自分が成長できる場だと思った
- ・自分の知らない生き方をたくさん知れて今後の自分について考えるきっかけになった。
- ・このような会を催して頂きとても勉強になりましたいろいろな人と出会うことができました。ありがとうございました。
- ・いろんな生き方を皆さんされて来たんだなと思いました“人生は山あり谷あり”という事を忘れず頑張っていきたいです。そのためには勉強という山、谷を越えるための道具を装備していきます。

## 5. おわりに

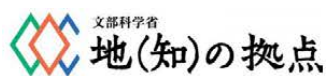
この度はご参加くださいました皆様、高梁の先達の皆様に対し、厚く御礼申し上げます。

今回は生き方のヒントをテーマに開催いたしました。普段、参加者や実行委員にとって、先達の皆様と話す機会はほとんど無かったかと思いますが、今回の開催によって、先達の皆様に身近な存在だと感じられたのではないかと思います。また、この会をきっかけに、改めてこれからの生き方について考えたり、興味を持ったという方も多いのではと思います。参加者・先達の皆様からは様々な貴重なご意見をいただきました。運営に関しても様々な収穫・課題がありました。その中で、「エデュカーレという会があった」との声を多数頂いたことが、今後も会を開催していく実行委員一同にとって大変励みになりました。

実行委員長 板垣 拓哉

## 6. 付録

### 1) ポスター・チラシ



本事業は、平成25年度文部科学省 地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)に吉備国際大学が「だれもが役割のある活きいきした地域の創成」というテーマで採択され、支援を受けています。

平成27年度 第5回 エデュカーレ in たかはし

# 地域の先達に学ぶ

～生き方のヒントを探しませんか?～

高梁市には地域の活性化や地域づくりに取り組まれている方々がおられます。そのような方々の思いや生き方は、人生を模索している市民や若者及び学生にとって、既存の価値観にとらわれない新しい生き方のヒントになるかもしれません。

高梁で活躍されている先達の方々をお招きし、先達の方と市民・学生が少人数のグループを組み「生き方」について学び、話し合います。

日時:平成27年12月20日(日)13時30分～17時00分  
(13時00分受け付け開始)

会場:吉備国際大学 国際交流会館2階 多目的ホール

参加費無料 事前申し込み不要 (高梁市外の方もご参加いただけます)



主催:吉備国際大学  
実施主体:エデュカーレ in たかはし実行委員会  
後援:高梁市、高梁商工会議所青年部  
NPO法人 だっぴ  
協力:吉備国際大学社会科学部 井勝研究室  
吉備国際大学地域創成農学部 森野研究室  
吉備国際大学外国語学部 大下(朋)研究室

連絡先  
〒716-8508 岡山県高梁市伊賀町8  
吉備国際大学 社会科学部 経営社会学科  
井勝(いかつ)研究室  
TEL/FAX:0866-22-9223  
E-mail:ikatsu@kiui.ac.jp

## 2) アンケート用紙

第5回 エデュカーレ in たかはし  
アンケート

年齢： 10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代 ・ 80以上  
性別： 男性 ・ 女性  
居住地： 高梁市内 ・ 高梁市外

全体プログラム： 悪かった 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 良かった  
(改善点： )

話し合いワーク： 悪かった 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 良かった  
(改善点： )

スタッフの動き： 悪かった 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 良かった  
(気になった点： )

本日のフォーラムの良かった点をご記入下さい

1. \_\_\_\_\_  
2. \_\_\_\_\_  
3. \_\_\_\_\_

本日のフォーラムの悪かった点、改善点を教えて下さい。

1. \_\_\_\_\_  
2. \_\_\_\_\_  
3. \_\_\_\_\_

感想をご記入下さい。

ありがとうございました



### 3) 写真

#### ①受付風景



#### ②実行委員長は3年生の板垣君。総合ファシリテーターは2年生の枝光君



#### ③全員で自己紹介





④ゲストの方にはプロフィールや座右の銘をお話いただきました



⑤アイスブレイクは「キャッチ」



⑥一名のゲストと5人の参加者でグループを作って話し合いをしました





⑦話し合いの方法はフリップボードディスカッションです



⑧グループファシリテーターは実行委員が務めました



⑨グループの話し合いの内容を全員で共有しました



⑩最後に全員で感想の共有



⑪高梁商工会議所青年部の徳田会長の閉会のご挨拶



全員で記念撮影





## 実行委員名簿

### ◇実行委員長

板垣 拓哉 (社会科学部 経営社会学科 3年)

### ◇副実行委員長

蔣 雋二 (社会科学部 経営社会学科 3年)

行森 俊紀 (社会科学部 経営社会学科 2年)

### ◇実行委員

荒木 佑介 (社会科学部 経営社会学科 3年)

高山 眞紀子 (社会科学部 経営社会学科 3年)

楊 涵 (社会科学部 経営社会学科 3年)

枝光 広斗 (社会科学部 経営社会学科 2年)

大川 朱理 (社会科学部 経営社会学科 2年)

中谷 雅尚 (社会科学部 経営社会学科 2年)

的場 美希 (社会科学部 経営社会学科 2年)

韓 贊熙 (社会科学部 経営社会学科 2年)

## 連絡先

〒716-8508 岡山県高梁市伊賀町

吉備国際大学 社会科学部 経営社会学科

井勝 (いかつ) 研究室

TEL/FAX:0866-22-9223

E-mail:ikatsu@kiui.ac.jp